

環境



公益財団法人 日本野鳥の会

団体の概要

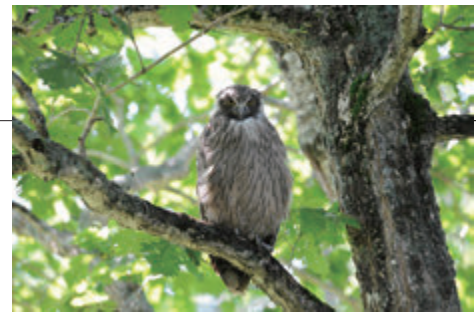
日本野鳥の会は、自然と人が共存する豊かな社会の実現を目指し、野鳥の保護を通じて生物多様性保全に取り組む民間の自然保護団体です。鳥を飼い、食べることが一般的だった1934年(昭和9年)、「野鳥の父」といわれた中西悟堂の「あるがままの自然こそ尊し」とする自然観のもと創設されました。

以来、「鳥獣保護法」制定への基礎づくりや法制化によるカスミ網の所持・使用・販売禁止の実現、国内初のサンクチュアリの設置など日本における自然保護団体の先駆けとして野鳥をシンボルに環境を守ってまいりました。

現在、全国約5万人の会員・サポーターからの会費や寄附に支えられて、自由な立場で幅広い自然保護活動を行っています。これからも希少な野鳥と生息地を守り、また身近な鳥たちがいつまでも人と共存できるように活動してまいります。ご支援をよろしくお願いいたします。



渡邊野鳥保護区ヤウシュベツ©日本野鳥の会



シマフクロウ©日本野鳥の会

主な活動

<野鳥や自然を守る活動>

- ・開発によりすみかを奪われ、数を減らしてしまったシマフクロウやタンチョウなどを絶滅から救うため、生息地を買い取り独自の野鳥保護区を設置しています。その総面積は、協定地を含め36ヶ所、3,167ha(2014年12月現在)と国内の自然保護団体としては最大級であり、多くの生きものたちのすみかを守っています。
- ・自然破壊や野鳥への影響が心配される大規模な開発について、野鳥の立場から開発計画への提言や要望など計画見直しを求める取り組みを行なっています。とくに風力発電施設が野鳥と共存できるように、積極的に活動しています。
- ・福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の野鳥や自然への影響を明らかにするため、ツバメや水鳥などの調査を行なっています。

<野鳥や自然を大切に思う心を育てる活動>

- ・ツバメやヒバリなどの身近な野鳥や身の回りの自然について広く関心を高めるため、一般の方も参加できる調査の実施や小冊子を配布しています。
- ・自然観察の森など、全国8カ所の自然系施設の運営に携わり、年間約30万人の来訪者に野鳥や自然の素晴らしさを伝えています。



シカの食害から苗木を守るための柵の設置作業©日本野鳥の会

寄附金の活用方法

上記のような活動をはじめ、野鳥を守るための活動全般に活用させていただきます。

活動報告について

年次報告書のご送付のほか、会誌『野鳥』、その他随時発行する印刷物などで定期的にご報告いたします。またプレスリリースや最新情報はホームページでもご覧いただけます。

所在：〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル
TEL：03-5436-2630(受付時間／10:00～17:30 土・日・祝日を除く)
<http://www.wbsj.org>